

BIOMOD2022 JAPAN OPEN

BIOMOD JAPAN OPEN 2022 開催要項

主催：計測自動制御学会 システム情報部門調査研究会 「知能分子ロボティクス研究会」

後援：文部科学省科学研究費助成事業 学術変革領域研究 (A)「分子サイバネティクス」

1. 開催概要

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、2020年から中止となっている BIOMOD 世界大会の代わりとして、BIOMOD JAPAN OPEN は開催されてまいりました。2020年、2021年大会は完全オンラインでの開催でしたが、今年2022年は、一部の実験系を再開するために、ハイブリッドで開催します。

2022年大会は、「**脱炭素社会の実現**」に貢献する**分子ロボット**、をテーマとします。参加者は、地域や所属などの枠を越えて編成された混成チームに所属します。チームごとにテーマに関するアイデアを考え、シミュレーションや実験を行い、分子ロボットをつくります。BIOMOD 世界大会と同様、各チームはアイデアおよび取り組んだ内容を紹介するための **Wiki (web ページ) 作成**、**YouTube 動画作成**、**プレゼンテーション**を英語で行い、それぞれの合計得点で評価されます。

2. 開催期間

2022年7月1日～9月17日

7/1(金) チーム編成発表 [分子ロボティクス夏の学校初日]

7/30(土) 中間発表会

9/10(土) Wiki, YouTube クローズ

9/17(土) 最終発表会(ジャンボリー)

3. 開催場所

オンラインおよび各実験拠点 (後述)

4. 参加資格

制限なし (分子ロボティクス夏の学校への参加を推奨。1人からでも参加歓迎。)

5. 参加費

無料

6. 申し込み方法

公式ウェブページ(biomod.jp)内のフォームよりお申し込みください。

7. 大会の詳細

7.1 チーム編成

参加者の地域やバックグラウンド、活動可能な時間帯などを考慮し、実行委員会がチームを編成します。また、BIOMOD 本大会と同様、各チームには「メンター」が配置されます。メンターは、プロジェクト遂行について助言を行います。

7.2 実験拠点

BIOMOD JAPAN OPEN 2022 では、「実験拠点（ホスト研究室）」を設けます。実験拠点へアクセス可能なメンバーが実験を行います。公平性の観点から、行う実験は、**1）電気泳動**、**2）紫外・可視分光光度測定**、の2種類のみとします。実験の遂行は、ホスト研究室およびホスト研究室が所属する機関の規定を遵守して行うこととします。

7.3 講義

大会の参加にあたり必要とされる知識は、「分子ロボティクス夏の学校（オンライン、録画配信あり）」の講義で提供されます。そのため、本大会参加者は、夏の学校への参加が強く推奨されます。

7.4 活動時間

制約はありません。チーム内で相談し、活動を行なってください。

7.7 成果発表

Wiki, YouTube（3分以内）、プレゼンテーションによる成果発表を行います。さらに、最終成果発表会（ジャンボリー）後の学会発表（分子ロボティクス年次大会）、論文化を計画中です。

7.5 採点

BIOMOD 本大会の規定に則って「ジャッジ」が行います。

7.6 使用言語

評価の対象となる、Wiki, YouTube, プレゼンテーションはすべて英語です。チーム内での議論で用いる言語に制約はありません。

8. メンター・ジャッジ・実験拠点（ホスト研究室）募集

当大会の運営のため、教員の皆様のご支援をお願い申し上げます。メンター、ジャッジ、そして実験拠点となるホスト研究室を募集中です。本年は実験環境にレギュレーションを設けたこともあり、新たに参画しやすい環境となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先

BIOMOD JAPAN OPEN 2022 実行委員会

info@biomod.jp